

No. 1

日本の良いところを三つ挙げなさいと言われたら、私は治安、衛生環境、教育の三つを挙げる。なぜなら、私は安全を感じながら一人で街を歩くことができる。日本ほど女性が夜道を怖がらないで歩ける国はない。また、日本の街はどこも清潔である。決まった日にゴミの収集があり、それを守っている。そして、私は日本国憲法第二十六条にある教育を受ける権利と教育を受けさせる義務に守られている。世界にはまだ教育を受けられない子

供がいるのに、私たちは学校に普通に行く。日本にはこのような素敵なところがあると胸を張って言えるのは、実のところ、全て税金のおかげである。

税金がない世界とはどのような世界なのだろう。街から警察署が消え、人々は自衛するしかなくなる。当然、心の余裕もなくなるから、他人への思いやりの気持ちなど消えてしまふことだろう。また、ゴミは収集されなくなり、ゴミの処理はそれぞれがしなければい

けなくなる。きちんと処理する人ばかりではないから、街に悪臭が立ち込めるだけではない、ねずみが走り回り伝染病が蔓延するかもしれない。そして、何より教育。私は教育を受けているから、人間は生まれながらにして平等であることを知っている。このことについて習ったのも学校である。教育を受けられなくなれば、たくさんの素敵な人や知識と出会えなくなる。私は、そのような世界で生きたくない。

No. 2

その一方で、新聞やニュースなどで税金の無駄遣いが指摘されているのを見ると悲しくなる。豪華なのに使う人がいなくてぼろぼろの公共施設。立派なのに使われない橋。どうしてこれが許されるのか。会計検査院が、毎年、検査報告を提出し、税金の無駄などを指摘しているが、今年は今全くありませんでしたという年はない。それでは、税金が無駄遣いされないために、私たちができることはあるのだろうか。おそらく政治に関心を持つこと

である。選挙に行き、私たちの生活を良くしてくれる代表を選ぶ必要がある。私はあと四年したら選挙権を得る。その時まで何をしても変わらないと思わせない国であって欲しい。何をしていても変わらないだろうと若者に思わせないために、税金の使い道を決められる立場にいる方に伝えたい。子供や教育のためにもっと税金を使つて欲しい。日本には石油や天然ガスといったエネルギー資源はない。しかし、子供のために税金をもつと使つたら、

No. 3

子供の数は増え、子供の頭から知的資源が生まれるかもしれない。この資源は他の資源とは違い、枯渇することはない。多くの生物がそうであったように、子供が生まれなくなつたら、その種は滅びる。日本人を一つの種と考えたら、それが起こりうる状態に今の日本はある。私たち若者も、将来の日本を担う者として、今一度、税金の使われ方について、真剣に考える必要があるだろう。